

横路福祉社会会報

〒七三七〇一三三
 呉市広横路四丁目一四六
 横路福祉社会
 編集発行人
 神垣 光徳
 (0833)7118197

「新時代の幕開け」

社会福祉法人 横路福祉社会
 理事長 神垣 光徳

昨年度は、保育所と、幼稚園に加え、新たに「子ども園制度」が創設され、本年（平成 28 年）4 月 1 日から社会福祉法等の一部を改正する法律が施行された。

この改正は、小さな保育所においても、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性、財務規律の強化が謳われ改革を推進することを求めている。なかでも経営組織については、全権限を有していた理事会に加え、新たに評議員会が設置された。重要案件については、評議員会へ決議したうえで、理事会で決定する必要がある。これにより、理事会への牽制機能を持たせ理事や監事の権限や責任の明確化を図ることが求められ、本年度中にこの改革に着手しなければならない。

私ども横路福祉社会は、PTA 立の強みを生かし、役員が自由闊達な意見を交える土壌があり、慎重審議を尽くし理想的ともいえる法人運営と、積極的な情報公開をしてきた。

しかし、来年度には、理事会に加え評議員会において二重に審議することが求められる等、社会福祉法人の運営により重責を感じている。

さて、昨年度の横路福祉社会の経営は、保育単価の見直し、保護者の協力や経営豊富な保育士の活躍で大きな事故もなく、着実な実績を上げることができた。これも単衣に地域や保護者の皆様のご支援とご協力の賜物と厚くお礼申し上げたい。

これから年々子ども数が減少する一方で、子ども園の新設や 3 歳未満児を預かる小規模保育事業所の新設と、地方と都会では真逆の競争が激化しつつある。

横路保育所が設立されて 67 周年を迎える今日、これからも現状に満足することなく、保育の内容や質で横路保育所を選択していただけるよう日々研鑽を積む必要がある。

「時代の流れは速い」

平成 28 年度 第 1 回役員会

5 月 19 日横路保育所において、役員会が開催されました。
 主な議題は、平成 27 年度事業報告と、決算について審議を重ね承認された内容は次のとおりです。
 なお、詳細はホームページにて財務諸表等を公開しています。

平成 27 年度事業報告書

1・事業の概要

- 平成 27 年度、新たに「子ども・子育て支援制度の施行」により施設型給付の保育所としてスタートした。これまでの保育内容と大きく変わりはないが、当保育所としては、保育も教育という観点をより意識することで、考え込んだり、覚えさせたり、やらせたりするのではなく、子どもたち一人ひとりを大切にしたい見守る保育を行う中で、子どもたちがそれぞれ自分の興味や関心、やりたいと思う気持ちを伸ばすことに意を用いた保育を実践している。
 生きる力を身に着けることを基底にし、保育所と小学校が連携する中で、先取り教育とならないよう、探求心や思考力、表現力等に加えて、感情や行動のコントロール、粘り強さ等を育むことを大切にしている。
 特に年間を通した散歩、マラソンや体操に力を入れる一方、クラス単位や全体での絵本の読み聞かせに力をいれてきたことから、心身ともにバランスの取れた保育の実践ができた。
- 情報公開については、社会福祉法人新制度改革により、保育内容、現況報告や財務内容等をホームページ上に、また加えて就業規則や職員の給与規則等、また新たに保育所の自己点検票や利用者からの苦情相談についても、備置き資料綴りで公開している。
- 「食育」については、管理栄養士を配置し、食材については、自然素材を積極的に取り入れる等、取り組みに力を入れている。食物へのアレルギー疾患児童に対しては、保護者からの聞き取りを基に管理栄養士・調理士・保育士が連携してこどもの状況を的確に把握するとともに、写真付き除去確認票で確認する等、給食を安全に提供する体制の強化を図ってきた。保護者に対しても、食育についての研修をする等、望ましい食生活のあり方に力を入れてきた。

平成 27 年度 事業報告書

1. 保育児童数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才児	7	7	8	8	8	8	10	10	10	10	10	10	106
1・2才児	40	41	42	43	43	43	42	42	42	42	42	42	504
3才児	29	29	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29	354
4才以上児	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	744
計	138	139	142	143	143	143	144	144	143	143	143	143	1,708
開所日数	25	23	26	26	26	23	26	23	23	23	24	26	294

2. 一時保育利用者数(延べ人数)の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
3才未満児	159	156	191	109	129	158	189	164	188	165	146	143	1,897
3才以上児	24	19	16	13	25	16	47	43	54	85	130	117	589
計	183	175	207	122	154	174	236	207	242	250	276	260	2,486

3. 延長保育利用者数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
(標)利用者	156	109	164	150	92	109	131	100	120	100	113	121	1,465
(短)利用者	26	18	20	49	35	45	34	46	38	42	38	33	424

平成 27 年度 社会福祉法人 横路福祉社会

単位:円

貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
流動資産	29,881,765	流動負債	3,166,647
固定資産	151,428,879	固定負債	6,601,000
		基本金	9,325,625
		国庫補助金等特別積立金	38,907,147
		その他の積立金	80,950,000
		次期繰越活動収支差額	42,360,225
計	181,310,644	計	181,310,644

自 平成 27 年 4 月 1 日

収支決算書

至 平成 28 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
人件費支出	92,290,107	保育所運営費収入	133,175,507
事業費支出	15,318,584	受取利息配当金収入	100,332
事務費支出	7,441,704	その他の収入	280,237
固定資産取得支出	539,276	積立資産取崩収入	44,800,000
積立預金積立支出	56,800,000		
当期資金収支差額	5,966,405		
計	178,356,076	計	178,356,076



「これから」

保育士 水谷 真知子



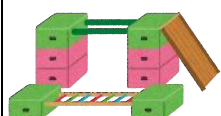
私は、9年間カワイイ体育教室の講師をしてきました。「ほめて、認めて、気づかせる」と言う言葉もありましたが、日々レッスンをしていく中で自然にほめるという事が身についていきました。しかし、ほめる事が難しい子がいたのも事実。それでも、ほめポイントをさがす、若い頃は、そんな日々もありました。子どもたちは、どんな小さな事でもひとつほめられると次また前向きに取り組む事ができ、頑張っている事を認められた嬉しさを体現したり、友だちがほめられた姿を見て、気づき、頑張ろうとする。そんな子どもたちの姿を見る事が、とても好きでした。

また、言葉として「失敗しても何度でもがんばれる子は強い子」「失敗してもいい、でも途中であきらめず最後まで頑張る事ができたら〇」等と言ってきましたが、くやしい思いを全面に出しながらも、素直にまっすぐに最後まで頑張れる子どもたちの姿、これは本当にすばらしいものでした。

私は、運動が得意ではありません。むしろ、苦手な事が沢山あります。ただ、体を動かす事は、少なからず好きな方です。こんな私が、子どもたちに思う事は「体を動かす事が楽しい！好きだ！」と思っしてほしいという事、ひいてはそれが生涯スポーツという形で、大人になっても体を動かす事を楽しみ、ストレス発散につなげたり、人生の楽しみの一いつになっしてほしいという、そんな思いがあります。

今、保育士となり、いろんな面から子どもたちの姿を見るようになって、この思いは変わらずにある事に最近気づきました。というより、思い出したのかもしれない。

これから保育士として、運動あそび・体育あそびを通して、前向きな姿勢、頑張れる強さ、友だちを応援する気持ち、ルールを守る事、友だちと協力すること、等々伝え、そして一番に「体を動かしてあそぶ事って楽しい！」と思ってもらえるように、日々取り組んでいきたいと思っています。



芋うえ指導
(JA 営農販売課)



広島国際大学生による
絵本会



交通安全教室



私が管理栄養士になったきっかけは、小学校の管理栄養士の先生、給食を作ってくれるおばちゃん先生に出会ったことです。私は、幼稚園に通っていたので、「給食」というものを食べるのは、小学校に入学してからでした。毎日色々なメニューの給食が出てきて初めはただただ食べているだけでしたが、次第に「給食ってどうやって作るのかな？」等と色々な事に興味を持つようになりました。そんな私の疑問に先生は丁寧に色々な事を教えてくれました。「私も先生のようにになりたい」と思うようになり、管理栄養士になりました。大学を卒業して、ご縁があって、この横路保育所で働かせていただくようになって早いもので、2年目となりました。1年目の昨年は、初めての事ばかりで戸惑うことや緊張することが多かったですが、子どもたちが「給食おいしかったよ」や「これどうやって作るん？」等とたくさん話しかけてくれたり、周りの保育士の先生、先輩調理員のサポートのおかげで、自分らしく過ごす事ができました。2年目になって、子どもたちとかかわる事も増えていき、「給食おいしかったよ」の声の他にも、「〇〇のメニューが好き」や「〇〇また作ってね」等1年目の昨年よりも沢山の話を聞くようになりました。まだまだ私の憧れの先生のようにはなれていませんが、少しでも近づけるように、また、子どもたちに「食」について興味を持ってもらえるように頑張っていきたいとおもいます。

「管理栄養士として」

管理栄養士 宮園 愛美



クッキング
(もちもちパン作り)

